

質 問 回 答

2016年11月14日

「(案件名)キルギス国 JICA 事業関係者能力強化のための PCM 研修」(公示日:2016年11月2日/公示番号:160834)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	【第2 業務の目的・内容に関する事項】(別紙 P.3) 4.(3) 3)研修実施言語	研修実施言語は英語(青年海外協力隊員に対しては日本語)とありますが、英語コース受講者の英語力は、どの程度のレベルを想定すれば良いでしょうか。演習中の議論やカードのライティングを含め、コミュニケーションに問題なしと考えて良いでしょうか。	英語コース受講者の英語によるコミュニケーションは問題ありません
2	【第2 業務の目的・内容に関する事項】(別紙 P.3) 4.(3) 4)コースの概要のイ.	「PDM の理論と作成及び PO の作成・審査にかかる講義・演習(PDM 及び PO の審査の際...)」とありますが、PCM手法における計画立案時の審査は通常 PO を含まないことから、「PDM の理論・作成・審査と PO の作成にかかる講義・演習(PDM の審査の際...)」と理解して宜しいでしょうか。	ご理解の通りで問題ありません。 ここでいう「審査」とは、従来の PCM カリキュラムの中にある PDM の審査のことを指しています。PDM がロジカルかつ現実的に詰められているかを評価の可能性を想定して計画段階から客観的に考えるという解釈をしてください。したがって文言を次のとおり修正します。 【変更前】 プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)の理論と作成及び活動計画表(PO)の作成・審査にかかる講義・演習(PDM 及び PO の審査の際、受講者に評価可能性についても留意させること)。 【変更後】 プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)

通番号	当該頁項目	質問	回答
			の理論・作成・審査と活動計画表(P0)の作成にかかる講義・演習（PDMの審査の際、受講者に評価可能性についても留意させること）。
3	【第2 業務の目的・内容に関する事項】(別紙P.3) 4.(3)4)コースの概要のオ.	キルギス共和国に派遣されている青年海外協力隊員の内、研修参加対象としている隊員の主な職種は何でしょうか？基礎的なモニタリング手法の講義・演習を検討・提案する上で参考としたい。	現時点で参加予定の隊員の職種は以下のとおりです（ただし変更の可能性もあります。） 1. 青少年活動 2. 環境教育 3. 観光 4. コミュニティ開発 5. 自動車整備 6. 日本語教育 7. 料理 8. 理学療法士 9. デザイン手工芸 10. 体育 11. ラグビー 12. 作業療法士
4	【第2 業務の目的・内容に関する事項】(別紙P.4) 5.(2)2)研修実施後の業務のウ.	「本研修と専門家対象の事業マネジメント研修内容の改善の方向性提案」とありますが、「専門家対象の事業マネジメント研修」は何をもとに提案を行うのでしょうか？	5.(2)2)ウは削除します。
5	【第3 業務実施上の条件】(別紙P.6) 1.業務工程	現地派遣期間(移動日含む)は12月11日～22日とありますが、21日17:00時まで研修実施の場合、モスクワ経由で22日に東京に戻れません。21日の研修を早めに終えるようカリキュラムを作成して対応するのでしょうか。	現地派遣期間(移動日含む)は12月11日～23日に訂正します。

通番号	当該頁項目	質問	回答
6	【第7 見積価格及び内訳書】(P.6)	研修資機材(受注者側負担)の荷物に係るエクセス料金は、別見積としても可能でしょうか。	エクセス料金は別見積りではなく、本見積りとしてください。
7	【第9プロポーザルの評価】 1.2) 評価対象とする業務従事者の予定人月数	想定1.36MMの内、現地派遣12日×2名(0.8MM)のため、国内作業が11.2日(0.56)で端数(0.2日)となりますが、この理解でよろしいでしょうか。	No.5の回答内容を踏まえ、現地派遣期間13日×2名(0.86MM)及び国内作業5日×2名(0.5MM)により、合計1.36MMと想定してください。

以上